

(11) 引田岩花(ひきたいわはな) 鉱山跡 引田本坑(ひきたほんこう) 鉱山跡

主要鉱物 閃亜鉛鉱、方鉛鉱、菱鉄鉱、黄銅鉱、黄鉄鉱(参考文献(3)等による)

参考文献(1),(2)と、地形図を手がかりに表題の鉱山跡での探査採集を行った。地図上の「岩花」のところの黒印が引田岩花鉱山跡である。参考文献(1)の経路案内文は古くなってしまっている。地図中の黒印を目指せば、現地に着けよう。村道の山側に墓地が連続している。その間当たりを山に向かって突き進んでいくと、数十mで、小規模のズリらしいものが見える。その上に坑道口がある。岩花坑跡である。

「片山」のところの黒印が引田本坑鉱山跡である。今では林に覆われてしまっているが、川に沿って南北に鉱山施設があったことが伺える。南端には円形の大きなコンクリート残骸などがある。北側は畑などになっている。中央付近の山の付け根に、水がわき出している箇所がある。閉鎖された坑道口であると思われる。わき水の流れ中には、鉄成分によると思われる黄色い沈殿物が沈殿している。これが流れ込んでいる川底もこの黄色い沈殿物で覆われている。ズリらしいものは全く見つけられなかった。整地により除去されたようである。新しい土壌で完全に覆われてしまったのかもしれない。参考文献(1)にある現場写真では、ズリは一面の山盛りであり、また広々とした場所であったことが伺えるが。



地図 国土地理院2万5千分の1地形図「文挟」

探査日 2009年4月、その他の日

参考文献

- (1)「鉱物採集の旅 関東地方とその周辺」、桜井欽一、加藤昭、築地書館、1972年。
- (2)「鉱物観察ガイド」、松原聡、東海大学出版、2008年、50頁～52頁。
現地観察実施年 1984年
- (3)「日本地方鉱床誌 関東地方」、今井、河井、宮沢、朝倉書店、昭和48年。

鉾山跡写真



岩花坑。 入り口を失礼しながら、右手の奥に進んでいく。



岩花坑。 墓園から数十m先に石垣組があり、小規模なズリもある。



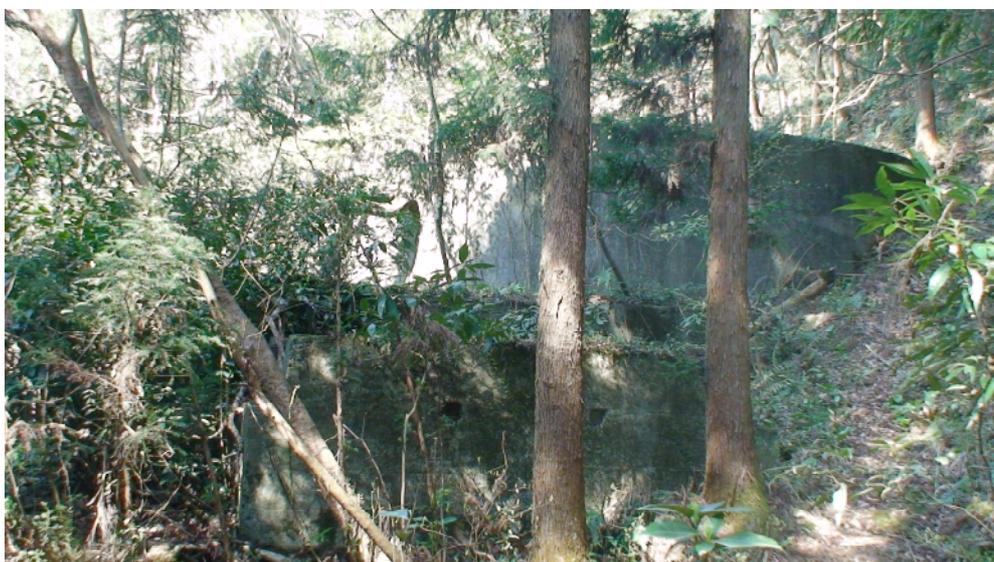
岩花坑。ズリの先にある坑口跡



本坑。潰れた坑口跡らしいところから、地下水が流れ出している。
河床は酸化鉄によるものであろう、赤茶けている。



本坑。坑口跡付近にある平らな地形。今では平地林となっている。
ズリは全く見つけれなかった。



本坑。鉱山施設らしいコンクリート製の廃墟

採集鉱物写真

品名 方鉛鉱 + カオリナイトを含んだ菱鉄鉱塊

岩花坑跡 方鉛鉱 + カオリナイトを含んだ菱鉄鉱塊
見かけによらず重い塊である。茶色の部分、白い部分、銀色に輝く部分がある。
参考文献(1)から判断した。

本坑跡 収穫なし

大した採集品ではないので当分、未掲載